

霧島

広報きりしま



Kirishima City Public Relations, Japan
2013.12.10発行 VOL.178

霧島 広報きりしま



発行/〒899-4394 鹿児島県霧島市重富中央三丁目45-1 電/0995-45-5111(代)
ホームページ/URL http://www.city.kirishima.jp メールアドレス/E-mail info@city.kirishima.jp
編集/秘書広報課 電/0995-64-0955 FAX/0995-64-0934 印刷/南島新聞社印刷

歴史に学ぶ
桜島大噴火、あなたはどうしますか
桜島大正噴火から100年

クルマの免許は 年内入校が スムーズ!



総額	普通自動車(オートマチック限定、昼間部)コース 276,200円 (消費税込)	入学金 写真・適性検査	教習料 技能・学科	検定料 仮免許申請手数料 仮免許交付手数料 修了検定料・卒業検定料
-----------	--	-----------------------	---------------------	---

※上記は最短時間の料金です。技能教習が延長された場合と、検定不合格時に補習を受講する場合は1時限あたり4,900円が加算されます。
 ※修了検定不合格時には再検定料として3,100円/回、卒業検定不合格時には再検定料として4,200円/回が加算されます。
 ※仮免許学科試験に不合格の場合、再試験料2,000円/回が加算されます。※高速道路教習は実車走行にて行います。
 ※普通自動車免許(マニュアルミッション)ご希望の場合は15,800円が加算されます。※夜間(17:30~)割増料金は900円/時限です。学生(高校生、大学生)は無料です。
 ※入学後、途中で退学される場合は、未実施の技能教習料と学科教習料を払い戻しいたします。

お得! 2014年3月までに
普通自動車コースで入校した学生さんは
総額より**5,000円引き!**

更に! 2013年12月28日までに入校された学生さんに
マックカード**2,000円分贈呈!**
※カードのデザインは変更となる場合がございます。

¥ 提携信販会社によるローンがお使いになれます。
※事前に審査がございます。詳細についてはお問い合わせ下さい。

送迎バス無料(学校→当校→自宅)または(自宅→当校→自宅)
※道路の状況、その他環境により近隣の搭乗となる場合があります。

お問い合わせ・お申し込みは 鹿児島県公安委員会指定[技能試験免除]
空港自動車学校 TEL 0995-42-8583

鹿児島県霧島市隼人町内2352-1 空港自動車学校 検索



来年、「大正噴火」から100年を迎える桜島。噴火の規模は国内では20世紀最大といわれています。

大正3（1914）年1月12日午前10時5分、桜島西斜面で、約10分後に東斜面で噴火。噴煙は高さ8000mを超え、火山灰は30000kg以上離れたカムチャツカ半島にまで達しました。山腹にできた十数個の火口からは大量の噴煙が立ち上り、あたりは火山灰に覆われました。

激しい噴火は翌日の13日の夜まで続きました。「ドーン」という地面が震えるような爆発音とともに火山灰や噴石などが降り続き、東桜島村黒神では、1日で2層も積もったとされています。

13日の午後8時の大きな噴火後に溶岩が流れ始め、5つの集落を飲みこみました。1月末には垂水との間にあった瀬戸海峡も埋め尽くし、桜島と大隅半島は陸続きになりました。大正噴火の噴出物総量は約20億立方メートル。3年前の新燃岳噴火が3000立方メートルだったことを考えると、その規模の大きさがどれほどすごかったのかが分かります。

霧島市でも被害

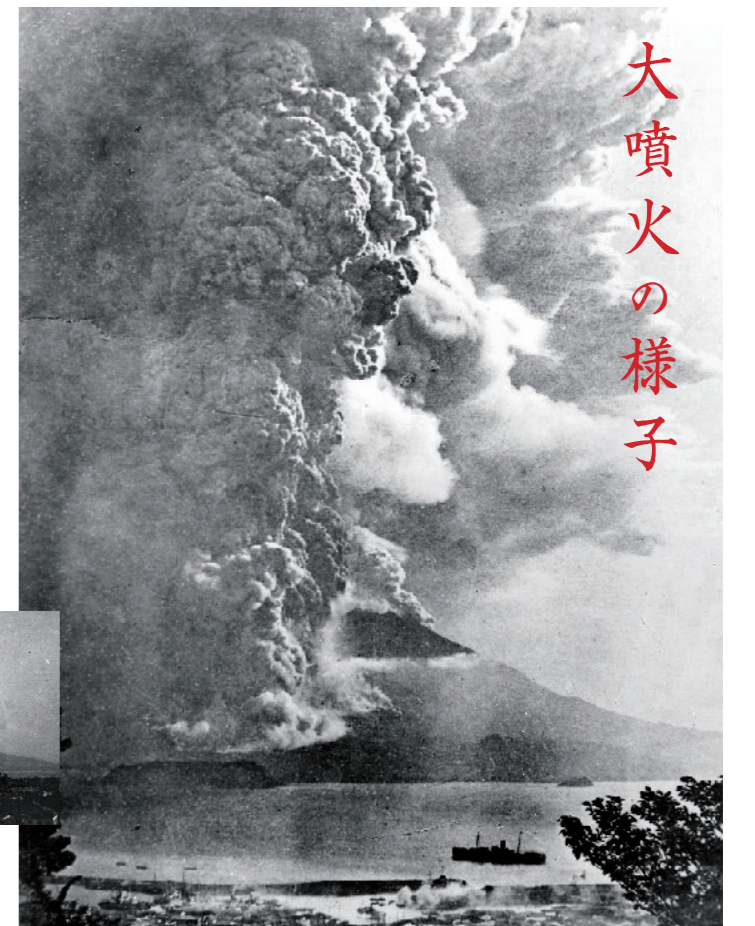
大正噴火の犠牲者58人、負傷者112人、住宅倒壊300棟以上、全焼2000棟以上。

犠牲者のうち約半数は、逃げ遅れて海に飛び込み、行方不明などになった島民の方です。残りは鹿児島市などの方で、最初の噴火から約8時間後の午後6時29分に発生した、錦江湾を震源とするマグニチュード7・1の地震による建物の倒壊などで犠牲になりました。

当時の様子は、各まちの郷土誌にも記されています。「降灰を浴び、田園の多くは荒廃。灰と大雨により川が氾濫し、水田が一大砂原に（国分郷土誌）」、「猛烈な大地震、納屋に避難民上陸。1月13日、避難民が増えたため吉松方面への臨時列車が運転（隼人町郷土誌）」、「福山村役場は炊き出し所を設け避難民を保護。しかし鳴動、地震で多くの避難民は牧之原や都城方面へ（福山町郷土誌）」、「桜島島民らが避難して来て駅は1月15日まで混雑（横川町郷土誌）」、「大津波により堤防が決壊、塩田は一瞬で海（始良町郷土誌）」など。

大正噴火は、桜島だけでなく霧島市やほかの県内外のまちにも大きな被害と混乱をもたらしました。

※市内の郷土誌は国分図書館で閲覧することができます。



大噴火の様子

桜島大噴火、あなたはどうしますか

歴史に学ぶ

桜島大正噴火から100年

県庁での炊き出しの様子。大勢の避難者が集まる（撮影日不明）



避難した人々



東桜島黒神にあった牛根村。降灰などで家は屋根しか見えない（撮影日不明）



左) 甲突川沿いの土手には地震により大きな亀裂が入る（撮影日不明）
下) 鹿児島市内では地震により家屋や外壁などが倒壊（撮影日不明）

地震の爪痕



※写真は鹿児島県立博物館提供



左) 溶岩流が瀬戸海峡を埋め尽くす。右側が溶岩（大正3年2月14日撮影）



右) 大噴火から2日後の1月14日に鹿児島市城山から撮った写真。大量の噴煙が桜島を覆う

大噴火から25分後、10時30分に鹿児島市城山から撮影した桜島。西側と東側の山腹から8,000m以上の噴煙が立ち上る

INTERVIEW

桜島に暮らす私たちと火山は切っても切れない関係です。上手に付き合っていくためには、火山の怖さをしっかりと学び、それに備えることが大切です。

そのために、島では年に1回避難訓練を開催しています。一人で避難するのが困難な方をリストアップし、誰がサポートするかも決めていきます。各家庭ではいつでも逃げられるように避難グッズを揃え、頭を守るためのヘルメットも全住民に配っています。

大正噴火のときは、島に電話が2つしかありませんでした。でも今は、たくさん情報手段があり、早めの避難ができます。日ごろから備えておくことで火山との共生は可能です。

降灰など過酷な条件の中での暮らしますが、桜島の人は、めげずによく働きます。これは、噴火で避難したときのために、普段からしっかりと働いて貯えておきなさいという先人の教えがあるからです。

そんな先人から受け継いだものを、私たちは後世に残していかなければなりません。そのために、来年は大正噴火記念碑を地域のみんなで建立する予定です。

これからも、この地に受け継がれてきた教えを守り、受け継ぎ、桜島とともに生きていきます。

あの体験を子どもたちにも伝えたい

東桜島町内会連合会会長 竹元 幹生さん(75)



私

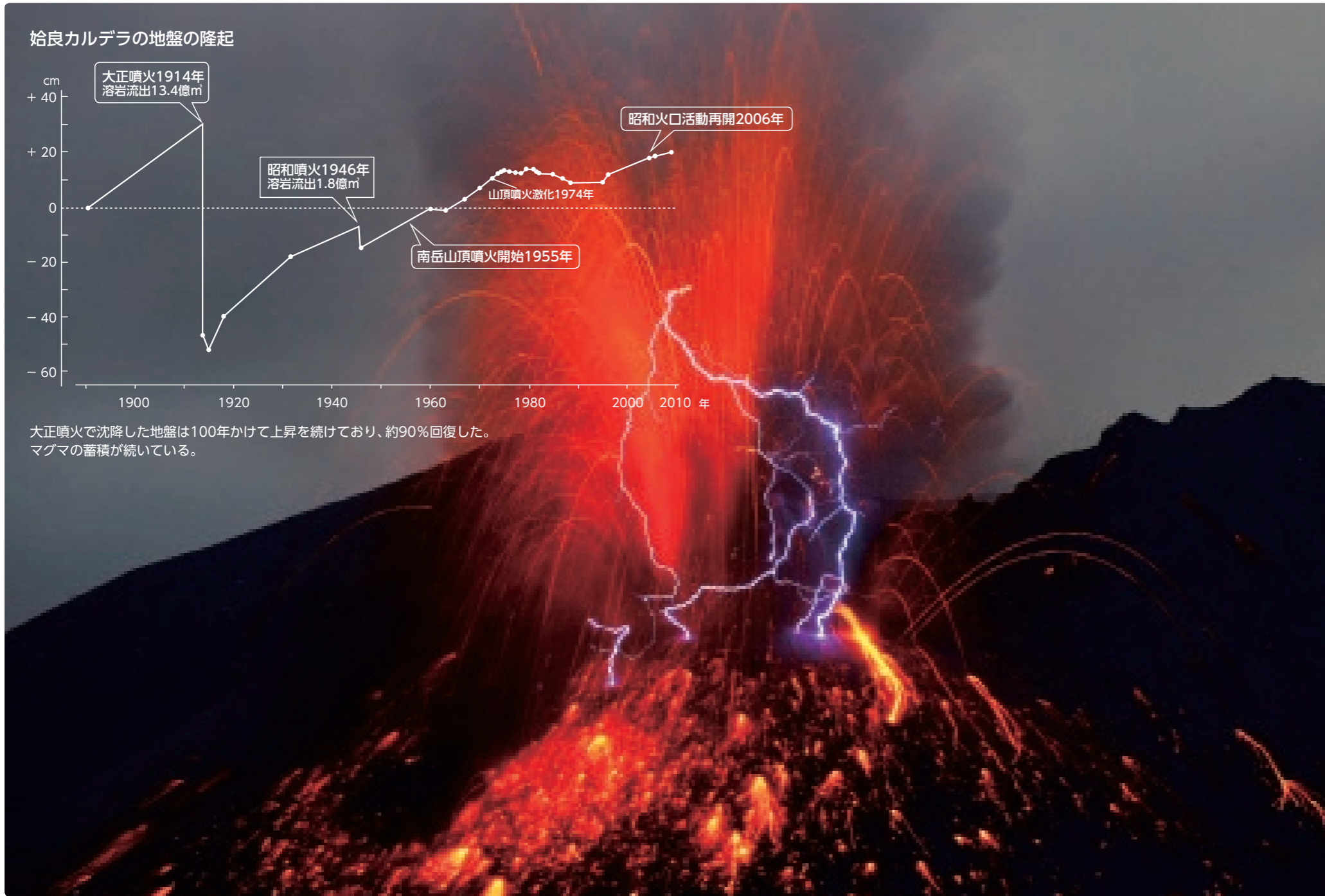
父は子どものころ、大正噴火を経験。同じ集落で11人の方が犠牲になりました。父たちは噴火前に鹿児島市に避難していたので大丈夫でしたが、家や畑は降灰の影響を受け、しばらく戻れない日々が続きました。

そんな父たちの面倒を見てくれたのは、何の関係もない方でした。当時はたくさんの方が避難しました。身寄りのない方もいて、善意で面倒を見てくれる方も多くいました。

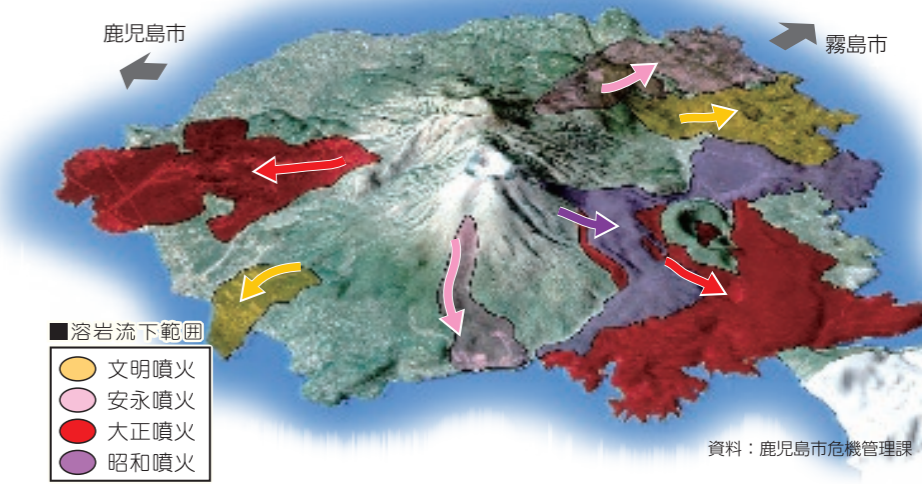
父はよく「助け合うことが大切」と教えてくれました。大噴火を経験して一番強く感じたことだったんだと思います。

私も子どものころ昭和噴火を経験しました。溶岩が流れていくところをすぐ近くで見ました。ゆっくり集落の方に向かっていく赤い塊に恐怖を感じました。

手に持つのは来年完成予定の記念碑の模型



夜の噴火では、勢いよく噴き出す真っ赤な溶岩を見ることができる。海老原勇一さん撮影(国分重久で理髪店を営む)



桜島の現状と噴火した時の影響

今年も、桜島の爆発的噴火は800回を超えました。活発化する桜島の火山活動。今後、どうなっていくのでしょうか。

桜島は大噴火するのか。噴火した場合、どのような被害が霧島市では予想されるのかを、桜島の観測を続ける京都大学防災研究所火山活動研究センター長の井口正人教授に聞きました。

桜島大噴火の可能性

桜島の現状について井口教授は次のように話します。

「始良カルデラの地下約10キロにマグマだまりがあり、そこから桜島の地下にマグマが供給され噴火は起こります。このときの供給量で噴火の規模が変わります。今、マグマだまりには大正噴火時の90%の量がたまっており、あと約10年で100%に達する見込みです。このことは、大正級の大噴火に対して警戒を要する時期に入ってきた

ことを意味し、いつ桜島の下にマグマが動くかが重要となってきます。近いうちかもしれないし、もっと先かもしれない。その時期は直前にならないと分かりませんが、大規模噴火が起きる可能性は非常に高いと思います。そのため、マグマの動きを24時間体制で観測しています」

噴火の影響

大正噴火レベルの噴火が起きたとき、霧島市ではどのような被害が予想されるのでしょうか。

「霧島市は少し離れているため、大きな噴石が飛んでくることはありません。しかし、小さな火山レキは風にのって飛んでくることも予想されます。新燃岳噴火で被害のあった空振も距離があるのであまり影響はないと思います。問題は火山灰です。風向きにもよりますが、多いときには沿岸部を中心に50センチ以上、そのほかの地域でも30センチ以上積もる可能性があります。生活や経済に大きな影響がでます」

さらに井口教授は、地震や津波の危険性も指摘します。

「噴火に誘発される地震が起きる可能性があります。地震や海底噴火で津波が起きることを考えておく必要があります。安永噴火では、海底噴火により十数回の津波が発生し、桜島では多くの方が亡くなっています。大正噴火の地震の時は、鹿児島市で1、2回の津波があったようで、霧島市には影響はありませんでしたが、海底噴火が霧島市に近いところで起きたり、震源地が変わったりすれば津波は高くなります。今のマグマの動きだと、その可能性は低いと思いますが、自然災害は何が起きるか分からないので油断はできません。しかも大正噴火では、大量のマグマが移動したため沿岸部で約80センチ地盤沈下しました。地盤沈下はしばらく続きます。小さな津波や高潮でも大きな被害をもたらす可能性があります」



京都大学防災研究所 火山活動研究センター長 井口正人教授

東桜島小学校の校庭に「桜島爆発記念碑」があります。東桜島村によって建立されました。

噴火の数日前から地震が頻発し、異変を感じた東桜島村の村長らが鹿児島測候所に何度も確認しましたが、答えは「桜島に異変なし」。当時は観測技術が進んでおらず、噴火を予知することが難しかったです。

多くの島民が事前に避難していましたが、残っていた住民に村長は「避難するに及ばない」と伝えます。そして1月12日、桜島大噴火。逃げ場を失った村長らは、真冬の冷たい海を泳いで逃げ、船に救助されましたが、2人の役場職員が命を落としました。

その教訓を忘れないために噴火から10年後建てられたのがこの碑です。裏面には「住民ハ理論ニ信頼セス異変ヲ認知スル時ハ未然ニ避難ノ用意尤モ肝要」と書かれています。

住民は理論を信頼するよりも、桜島の異変を感じたらすぐに避難できるように、日ごろからの用意と心構えが必要であることを記してあり、「科学不信の碑」とも呼ばれています。

大正噴火のとき、桜島では8つの集落が全壊し、約150人の死傷者がで

ました。しかし、2万人以上の島民が難を逃れられたのは、活火山に長年暮らしてきた先人たちの教えがあったからです。

噴火の記念碑は県内各地にあります。市内にも国分の大穴持神社やおおあまの郷平和祈念公園などに記念碑が建っています。歴史に学び、そして学んだことは、しっかりと後世に受け継いでいく。たくさんの方々の記念碑は先人たちから



桜島爆発記念碑

受け継がなければいけない教訓

先人たちが残したものは、住民自らの災害に対する備えを説いた教訓。



溝辺町麓（愛郷平和祈念公園）大正3年建立
大正噴火のすぐい爆発音が約18日間続いたことが記されている。



国分広瀬（大穴持神社）大正6年建立
暴風により浜之市一帯の防波堤が壊れたことが記されている。



隼人町浜之市大正5年建立
暴風により浜之市一帯の防波堤が壊れたことが記されている。

市内にある大正噴火関係の主な記念碑

命を守る備え

大噴火が起きたとき、私たちの生活にも大きな影響がでます。大事なものは、常に意識し、備えができていますか。



霧島市危機管理監 徳田 純

霧島市にも大きな影響をもたらす可能性がある桜島大噴火。私たちはどのように対処すればいいのでしょうか。

市の徳田純危機管理監に話を聞きました。

「県の防災計画では、風がない場合市内でも多いところで50センチ以上の降灰が予想されています。3年前、新燃岳が噴火したとき、都城市などでは2センチもたっただけで車の運転も困難になり、

津波は、どの程度の規模になるかわかりません。噴火を見るために海沿いに行こうとする人もいるかもしれませんが、決して海には近付かないこと。早めに高台に避難してください」

命を守るために

徳田危機管理監は、命を守るためには自助と共助が重要になるといいます。

「火山灰が何十センチも積もると、車の運転はもとより、歩くことも困難になり、市や自衛隊などによる救助もすぐにはできないと思います。そのため、早めに避難したり、地域内で助け合ったりすることが大切です。日ごろから情報を確認できるようにし、早めに対

生活に大きな影響が出ました。50センチも積もれば、外に出ることは困難だと思えます。交通も物流もストップします。そうなる困るのが食料などの日用品。1週間分ぐらいはストックしておくことが必要です」

さらに、地震や津波にも危機感を募らせます。

「大正噴火級の大規模噴火時には、地震が起きる可能性もあり、最大で震度6弱を想定しています。市の地震マップを確認したり、建物の耐震診断や家具が倒れないように固定したりするなど、事前に備えることが大切です。津波は、どの程度の規模になるかわかりません。噴火を見るために海沿いに行こうとする人もいるかもしれませんが、決して海には近付かないこと。早めに高台に避難してください」

処できる準備を各家庭や地域ですておくことが必要です」

桜島に暮らす方たちは、それぞれの家庭や地域で備えることで、桜島という火山としっかり共生しています。

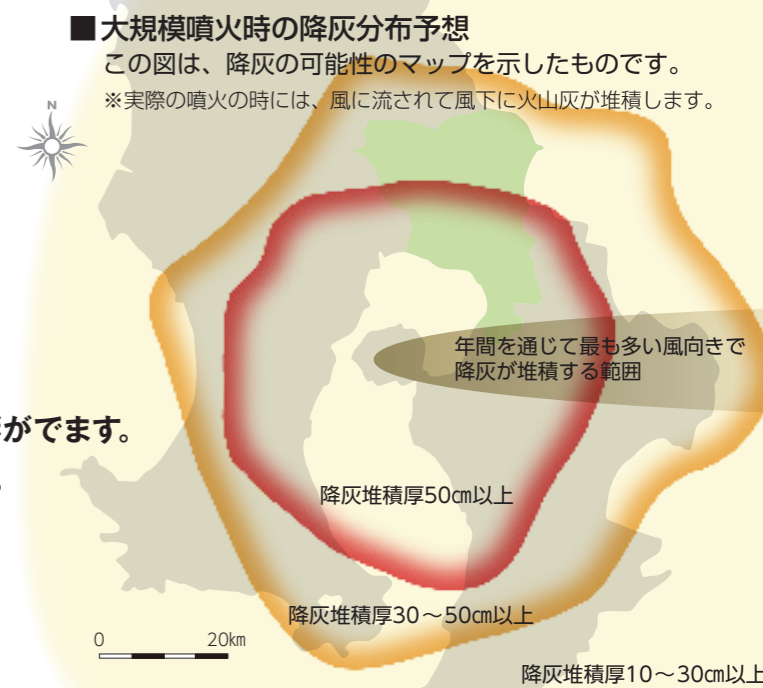
霧島市は南に桜島、北に霧島山があり、火山に挟まれたまちです。桜島だけでなく霧島山もいつ噴火するか分りません。地震も津波も、いつ発生するか分りません。だからこそ、私たちは常に備えておくことが大事です。

徳田危機管理監は「自然はコントロールできない。だから常に意識することが命を守ることにつながる」と話します。

桜島は来年、大正噴火から100年を迎えます。この機会に、地域や家庭でもう一度、「命を守る備え」を見直してみてはいかがでしょうか。



- ※ 市防災マップは安心安全課 ☎(64)0997、地震防災マップは建築指導課 ☎(64)0954に問い合わせいただくか、市ホームページにも掲載しています。
- ※ 桜島火山ハザードマップは鹿児島市ホームページに掲載されています。

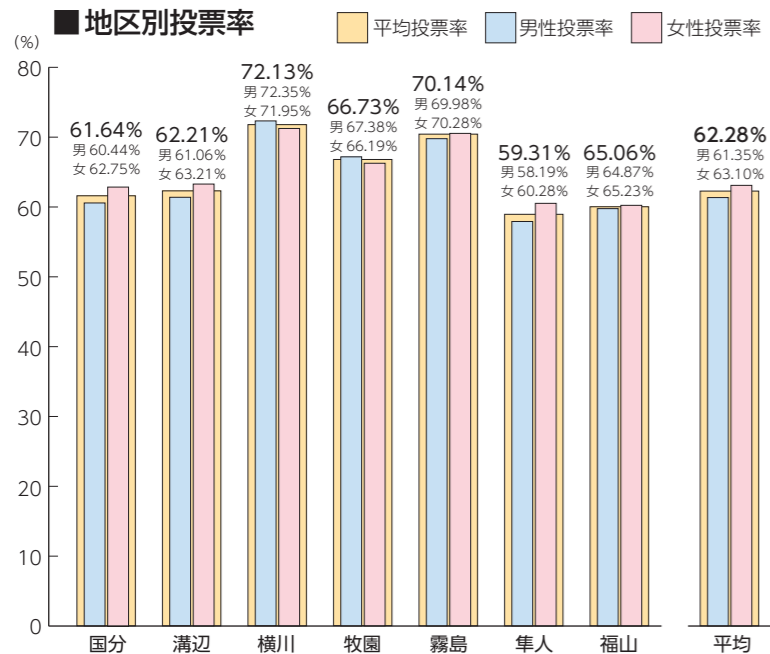


降灰堆積厚さごとの影響の目安

- 50cm程度
- 降灰が水を含んだ場合など、重さで木造家屋が倒壊する可能性があります。
 - 山地の渓流では、土石流が多発します。
- 30cm程度
- 河川では、洪水氾濫が起こりやすくなります。

堆積の厚さが数cm以下でもさまざまな影響があります。

- 目、鼻、のどなどの異常
- 視界不良、スリップなどによる交通障害
- 農作物被害
- 道路のセンターライン、側線が見えにくくなる など



隼人体育館で行われた開票作業の様子

■ 市長選確定得票

前田終止	21,336票
鶴丸明人	12,774票
中重真一	10,272票
仮屋国治	9,317票
山田龍治	8,315票



選挙後、初登庁する前田終止市長

任 期満了に伴う霧島市長選挙と市議会議員選挙の投票が11月17日に行われ、即日開票の結果、前田終止市長が3選を果たしました。

市長選挙には5人が立候補。前田市長は法定得票数の約1万5500票を超え、2万1336票を獲得しました。投票率は62.28%。

11月18日、選挙後の初登庁では「選挙が終われば全てノースサイド。候補者5人ともふるさとを思う気持ちは一緒です。霧島を一つにして、オール霧島でさらなる発展に全力を尽くしていきます」とあいさつしました。

霧島市長・市議会議員選挙結果

前田終止市長3選、市議会議員26人決まる

市民が主役の信念のもと、オール霧島でさらなる発展に全力を尽くしていきます。

木野田 誠 (霧島) 確定得票/2,232票	志摩 浩志 (隼人) 確定得票/2,311票	中村 正人 (国分) 確定得票/2,327票	有村 隆志 (国分) 確定得票/2,425票	池田 綱雄 (国分) 確定得票/2,462票	宮内 博 (隼人) 確定得票/2,526票	植山 利博 (隼人) 確定得票/2,590票	阿多 己清 (国分) 確定得票/2,680票	徳田 修和 (隼人) 確定得票/2,800票	時任 英寛 (国分) 確定得票/2,964票	厚地 覚 (牧園) 確定得票/2,968票	平原 志保 (霧島) 確定得票/3,485票	宮本 明彦 (国分) 確定得票/4,172票
塩井川 幸生 (横川) 確定得票/1,093票	前島 広紀 (国分) 確定得票/1,295票	中村 満雄 (霧島) 確定得票/1,478票	常盤 信一 (国分) 確定得票/1,634票	中馬 幹雄 (国分) 確定得票/1,686票	今吉 歳晴 (溝辺) 確定得票/1,717票	松元 深 (溝辺) 確定得票/1,846票	岡村 一二三 (横川) 確定得票/1,952票	下深迫 孝二 (国分) 確定得票/1,958票	前川原 正人 (福山) 確定得票/1,959票	池田 守 (国分) 確定得票/2,001票	蔵原 勇 (国分) 確定得票/2,090票	新橋 実 (国分) 確定得票/2,103票

今回から定数が34人から26人に減った市議会議員選挙には29人が立候補。現職20人、新人6人(新)が当選しました。地域別では国分13人、溝辺2人、横川2人、牧園1人、霧島3人、隼人4人、福山1人です。



人と動物が共生するために

鹿児島県動物愛護センターの開所式が10月16日、隼人町小田に建設された同センターでありました。この施設は、殺処分される動物を減らし、人と動物が共に幸せに暮

らせる社会の実現を目指すための拠点施設として県が建設したもので、里親を希望する人が犬や猫の譲渡を受けることができる「譲渡会」や里親に必要な知識を学ぶ「譲渡講習会」、動物と直接ふれあうことができるイベントなどが開催されます。伊藤祐一郎県知事は「幅広い世代の方に動物愛護思想の普及、定着を進めるための拠点施設にしたい」と抱負を語りました。



生き物を守り自然を守る

霧島地区の川北用水路の工事に前に用水路にすむホタルなどの生き物たちを別の場所に移そうと10月20日、生き物引越し大作戦がありました。

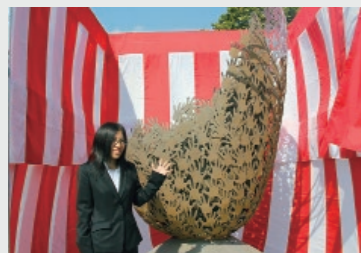
参加した大田小学校の児童や周辺住民ら約100人が、網などを使って生き物を捕獲。子どもたちは楽しそうにホタルの幼虫や魚、ヤゴなどをすくい近くの霧島川などに放流。参加した大田小5年の下登光月さんは「用水路にたくさんの生き物がいることが分かりました。ホタルが飛び交うきれいな川になってほしい」と話していました。用水路の完成は来春の予定。



牧之原の安心安全のために

福山の牧之原防犯パトロール隊が新たに「パトロール用ベスト」を作り10月28日、東牧之原公民館で交付式を行いました。この隊は牧之原地区内における犯罪の未然防

止などを目的としており、毎月5の付く日を一斉防犯パトロールの日と定め活動しています。当日は隊員52人のうち、約30人が集まり一人一人にベストが手渡されました。隊長の宮路政秀さん(61)は「牧之原には学校もあり、高齢者世帯も多いので、隊員と一緒にしっかり地域を見守りながら、安心して生活できる環境にしていきたい」と意気込んでいました。



鹿児島高専さらなる向上目指す

昭和38年創立の鹿児島工業高等専門学校の50周年記念式典が11月1日、同校の体育館であり、在校生や卒業生などが50周年を祝いました。

式典のあとには記念モニュメントの除幕式がありました。公募で採用された同校4年の佐藤結希さんの作品は、自分の左手を型どった銅板をつなぎ合わせて卵の半分が天空を指す形。佐藤さんは「製作には多くの人が協力してくれた。50周年は発展途上、完璧な球体ではなく楕円にし、さらに向上するように桜島が噴煙を上げている姿を表現しました」と話しました。

霧島市民表彰式

功績と優秀な成績を称え 個人・団体を表彰

霧島市発展のために長年尽力された方と感動を与えてくれた方へ



オープニングでは、成績優秀で表彰された霧島中学校吹奏楽部が演奏

長年、各分野で霧島市発展のために尽力された方と平成24・25年に優秀な成績を収めた方を表彰する霧島市民表彰式が11月9日、国分シビックセンター多目的ホールで行われました。式では99の個人と18の団体、1つの企業の表彰などを行いました。

永年勤続部門では、文化財保護審議会委員や学校医、民生委員、農業委員、自治会長などを表彰。成績優秀部門では、スポーツ大会などで優秀な成績を収め、人々に感動と希望を与えた方の表彰を行いました。多額の寄付をされた(株)平島と保健福祉の向上などに貢献された3人には感謝状の贈呈を行いました。

市民表彰受賞者(敬称略)

◎永年勤続

- 地方自治部門 宮ノ内正治、中園晃、小野郁子
- 教育文化スポーツ部門 川悟、中村義人、前田康貴、宮内秀明、稲田義久、竹下隆幸
- 保健福祉部門 久徳實、喜多トキエ、安田ミチ子、濱田士郎

- 産業経済部門 蔵原勇、小濱正春、深町四雄、林清一郎、有村久行
- 社会活動部門 有村雅重、重留真美、野間陽一、迫田寿幸、廣池隆夫、清水一郎、池平昭洋、中原要二、寺園哲善、角田憲雄、早瀬悦子、中村正行、重富昭一、禰永光、米満俊昭、濱田勝弘、八重尾慎作

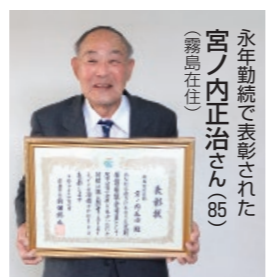
◎成績優秀

- 中村拓馬(青葉小・陸上)、新留陸(天降川小・陸上)、上村大心(富隈小・空手道)、塩福莉音(宮内小・陸上)、霧島ジュニアハンドボールクラブ、鮫島媛乃(国分中・陸上)、折田歩夢(国分南中・陸上)、今村菜々子(国分南中・空手道)、小原理生(舞鶴中・柔道)、野間陽(舞鶴中・柔道)、舞鶴中女子柔道部、東別府健(鹿児島第一中・空手道)、山口優萌(陵南中・陸上)、霧島中吹奏楽部、平田歩弓(隼人中・陸上)、青木龍太郎(浜崎大輔・松田拓也・今田塊都(隼人中・陸上)、隼人中男子ハンドボール部、山之口周平(日当山中・水泳)、二見浩誉(国分中央

- 卓球)、小山田由衣(鹿児島第一医療リハビリ専門学校・弓道)、末元里紗(鹿児島第一医療リハビリ専門学校・弓道)、鹿児島第一医療リハビリ専門学校弓道女子部、濱田尚里(自衛隊体育学校・サンボ)、大野洋之(空手道)、谷口麻美(空手道)、隼人(ママさんバレーボール)、窪田理沙(弓道)、村岡一孝(馬術)、重森

- 直翔(弓道)、ソニーセミコンダクタ(株)鹿児島テクノロジセンターハンドボール部、末藤雄二・久保田幸希・竹島慎一郎(国分自衛隊銃剣道訓練隊)、鈴木千弘(陸上)、成田智春(陸上)、イーजीライダー(軟式野球)、久米村一盛(和牛)、反田悟(和牛)、税所正幸(ホルスタイン)、有村幸二(茶・地域特産)、福永安広(普

- 通煎茶)、福永洋一(普通煎茶) ◎特別表彰 国分自衛隊持久走訓練隊、松元卓巳(ろう者サッカー)、



永年勤続で表彰された宮ノ内正治さん(85) (霧島在住)

平成9年に旧霧島町の文化財保護審議会委員となり、合併後も引き続き務めています。公民館講座や小中学校で話をしたり、史跡を案内したり、文化財の点検をしたり。昔から歴史が好きですが、この任に就いて文化財を後世に残すこと、歴史を伝えていくことの重要性を実感しています。歴史を知ること、もっと故郷を好きになり、人々の愛郷心を育む手伝いができるよう、これからも頑張ります。

- 濱田梨栄(ろう者サッカー) ◎感謝状 (株)平島、中須美弥、前田修、西原達



永年勤続を称えられた久徳實さん



表彰を受ける霧島ジュニアハンドボールクラブの皆さん



デフリンピックのサッカーに日本代表として出場した濱田梨栄さん

元気きりしまっ子

交流学習

国分西小、国分南小、平山小、川原小(国分地区)



①レクリエーションの時間にトランプで交流 ②昼休みに大勢でサッカー ③元気に手を上げる児童 ④理科の実験でペットボトルがへこんで歓声を上げる ⑤先生と仲良く肩を組んで ⑥みんなで仲良く給食 ⑦仲良くなった友達とおしゃべり

大規模校と小規模校の児童が交流
中学生活へ夢ふくらむ

VOICE

◎平山小学校6年
池田 公太郎君(12)

西小は児童数が多く学校も大きくて最初は緊張しましたが、隣の席の人が話しかけてくれてすぐに仲良くなりました。いつもは数人でする昼休みのサッカーもたくさんの友達や先生と一緒にできてとても楽しかったです。僕は*特認校制度で平山小に通っていて、隼人中学校区に住んでいます。仲良くなった友達とは一緒に中学校には通えませんが、学校以外で一緒に遊びたいです。西小で一日を過ごせて、大勢と生活する中学校生活への不安が和らぎました。中学校では友達をたくさん作りたいです。

他校生と触れ合って
 11月22日、今年西小が小規模校の平山小、川原小の13人を迎え入れ、1日を共に過ごしました。日ごろは数人で授業を受ける小規模校の児童、最初の顔合わせ会で西小の約180人を前に圧倒されたようでしたが、教室に入りレクリエーションなどをすると次第に緊張が解けてきたようです。授業では先生からの質問に元気に手を上げる場面も。失敗を恐れずに大きな声で答える元気な姿を見せると、西小の児童も負けまいと手を上げていました。

理科の炭酸水を作る実験では、気体が水に溶けてペットボトルが大きくへこむのを見てみんなで目を丸くしていました。給食時間にはお互いの学校での生活や趣味の話をしたり、昼休みには大勢でサッカーなどをしたりして互いの交流を深めました。引率で来た平山小の中村あゆみ教諭は「グループ学習など集団の良さが体験できました。中学では持ち前の自主性や積極性をたくさんの方々と作り協調性を磨いてほしい」と話し、西小6年1組の担任の竹山浩信教諭は「心細そうな小規模校の子に進んで声を掛けるなど、相手を気遣う姿を見て安心しました。中学生になっても調和を大切に、自主性や積極性を伸ばしてくれたら」と目を細めました。

*特認校制度…自然に囲まれた小規模校に一定の条件の下で特別に入学(転学)が認められる制度。市内には現在13校あります。

Kirishima Photo Frame

きりしまふおとふれーむ



上野原縄文の森で10月19日、20日に秋まつりが開催され、多くの家族連れがどんぐり工作やおこし体験などを楽しんでいました。



刑務所、少年院、少年鑑別所などで製作された家具や靴など約16,000点の展示即売を行う九州矯正展が10月26日、27日に国分体育館でありました。



全国硬筆コンクール小学校1・2年の部で国分小学校1年の長澤美日菜さんが最高賞の文部科学大臣賞を受賞しました。

霧島ふるさと祭が11月2日、3日に国分シビックセンター前のお祭り広場であり、大勢の人でにぎわいました。



国分中央高校精華祭が11月1日、2日に開催され、ドレスショーなどのステージ発表や展示、バザーなどが行われました。

国分上之段地区の風景を称える詩が記された記念碑の除幕式が10月28日にありました。



よろい武者や稚児行列など約400人が鹿児島神宮から浜之市まで練り歩く隼人浜下りが10月20日にありました。



4時間耐久リレーマラソンin霧島が10月27日、上野原縄文の森で行われ、市内外から大勢のランナーが参加しました。



10月末から11月にかけて、各地区で文化祭が開催されました。



錦江湾奥会議とは、錦江湾奥部に位置する鹿児島市、始良市、垂水市、霧島市の4市が、行政区を越えて連携し、地域活性化を図ることを目指します。

錦江湾奥会議

環霧島会議

環霧島会議とは、霧島山を取り巻く鹿児島・宮崎両県の5市2町で構成され、県境を越えて連携し地域活性化を図ります。

目指せ！世界ジオパーク認定

錦江湾奥イベント

- 垂水市 垂水千本イチョウ**
 - 見頃=12月中旬まで
 - 場所=垂水市役所前の県道71号線を東へ約10分
 - 内容=シーズンが訪れると一面黄金の世界が広がる垂水千本イチョウ。鹿児島県景観大賞を受賞した垂水市の新名所にぜひお越しください。
 - ☎=垂水市水産商工観光課 ☎0994(32)1111
- 始良市 太鼓集団蒲生郷太鼓坊主初打ち**
 - 日時=1月1日(水)午前0時~1時
 - 場所=蒲生八幡神社境内(蒲生町上久徳)
 - 内容=蒲生郷太鼓坊主が無病息災・五穀豊穡を願い、祝い太鼓で皆さんと新年を迎えます。
 - ☎=蒲生郷太鼓坊主(蒲生薬局内) ☎(52)1101
- 鹿児島市 カゴシマシティビュー「夜景コース」**
 - 期日=毎週土曜日(12月・1月は金曜日も運行)
 - 出発時間=午後7時、8時(12月は午後6時30分、7時30分を増便)※1時間程度
 - 内容=鹿児島中央駅発着でドルフィンポート、みなと大通り公園、城山などを周遊します。お得な1日乗車券をご利用ください。
 - ☎=サンサンコールがごしま ☎099(808)3333

環霧島・錦江湾奥イベント情報

環霧島イベント

- 湧水町 星のさんぽ道(イルミネーション)**
 - 日時=1月7日(火)まで(午後5時30分~10時点灯)
 - 場所=湧水町二渡地区
 - 内容=1,700灯を15万球のイルミネーションが彩る。12月23日(月・祝)午後6時からのクリスマスイベントではクリスマスソングの生演奏、サンタからお菓子のプレゼント。
 - ☎=実行委員会 ☎(74)3587
- 都城市 新春初詣健康マラソン大会**
 - 期日=1月2日(木)午前8時30分から
 - 場所=安楽寺(都城市山之口町)
 - 参加料=無料 ※事前申し込み不要
 - 内容=安楽寺を出発後、約野正八幡宮で今年1年の健康を祈願した後、熊野神社までの約4kmの行程で健脚を競います。
 - ☎=実行委員会 ☎0986(57)3007
- 曾於市 鬼追い**
 - 日時=1月7日(火)午後7時から
 - 場所=熊野神社(曾於市末吉町深川)
 - 内容=御幣を身にまとい走り回る3匹の鬼から御幣を取って持ち帰るとその年を無病息災で過ごせるといわれる招福除災の行事。鬼に打たれるのを覚悟で近づく緊張感も面白いです。
 - ☎=曾於市社会教育課 ☎099(482)5958

思い出の味を募集しています。住所、氏名、年齢、電話番号を記入の上、あなたの心に残る、食べたらなぜか元気になる味をエピソードとともにお寄せください。採用された方には後日連絡の上、取材させていただきます。
(宛先)〒899-4394 国分中央三丁目45番1号 秘書広報課「思い出の味」係

思い出の味
なぜか元気になる Taste of memories

田舎のそばの魅力を子どもたちに



かまどでそばを湯がく和子さん



Recipe(レシピ)

田舎そば(2人前)

【材料】
 ■そば そば粉100g、ヤマイモ20g、水50cc程度(蕎麦の乾燥具合で増減)
 ■つゆ 水400cc、鶏がら100g、だし昆布2枚、椎茸適量、調味料(本だし、みりん、白だし、薄口しょうゆ、濃口しょうゆ)各適量
 ■薬味 小ネギ、白ゴマ、刻みユズ各適量

【作り方】
 ■そば ①そば粉にヤマイモと水を少しづつ足しながら耳たぶくらいの固さになるまで混ぜ合わせた後、丸める。②そば打ち用の大きめの板の上で、そばが板につかないようにそば粉をまぶしながら丸棒を使って1~2mmの厚みに均等に延ばす。③重ねて食べやすい太さにそろえて切り、たっぶりのお湯で湯がく。④そばが浮いてきたらうち水をして沸騰させることを2回繰り返す。⑤冷水に取ってよく洗い、ざるにとる。
 ■つゆ ①鶏がらを水に入れて30分煮る。あくを丁寧に取り。②昆布を別に100ccの水に入れ沸騰する手前で火を止める。③①にシイタケを入れ、沸騰したらあくを取り、②を入れる。④みりん、白だし、薄口しょうゆ、濃口しょうゆ、本だしで好みに味付けする。
 ■盛りつけ そばは温めておいて、つゆと一緒に器に盛り、具と薬味は好みで。

● **大人の駅弁**
 駅弁「百年の旅物語かれい川」が土日祝日に限り駅舎内で販売。竹の子ご飯や煮物、がねなどが

● **大人気の駅弁**
 駅弁「百年の旅物語かれい川」が土日祝日に限り駅舎内で販売。竹の子ご飯や煮物、がねなどが

環霧島探訪
ぐるっと霧島周遊列車

先月号から始まった本企画。第2回目は霧島市の11の駅の中からJR九州肥薩線の嘉例川駅と大隅横川駅を紹介しました。ともに明治36(1903)年の開業で鹿児島県内最古の木造駅舎として今年110年目を迎えました。平成18年には国の登録有形文化財となり、漆喰の壁や木枠の窓などの趣が多岐の人をひきつけます。特急「はやと」の風も停車し、休日には鉄道ファンも多く訪れます。

● **嘉例川駅**
 霧島市単人町嘉例川にある無人駅で、夜は竹灯籠(午後5時30分~10時)が灯り、駅前広場では季節のイベントが開催されます。駅前には公園や「小さな博物館」(日曜午前9時~午後4時のみ)もあります。

● **大隅横川駅**
 霧島市横川町にある無人駅で、昔は山ヶ野金山で採掘された金の運搬駅として活躍。駅舎では季節の飾り付けや地域の子どもの絵画展など多くの催しが開催されます。第1・第3日曜開催のぼっば市では横川発祥の郷土菓子「げたんは」などを販売。

● **現存する戦争の記録**
 ホームの柱に残る戦時中に機銃掃射で打ち抜かれた痕跡が空襲の激しさを今に伝え、駅舎では毎年夏に平和を祈るコンサートが開催されます。

● **大隅横川駅**
 霧島市横川町にある無人駅で、昔は山ヶ野金山で採掘された金の運搬駅として活躍。駅舎では季節の飾り付けや地域の子どもの絵画展など多くの催しが開催されます。第1・第3日曜開催のぼっば市では横川発祥の郷土菓子「げたんは」などを販売。

● **現存する戦争の記録**
 ホームの柱に残る戦時中に機銃掃射で打ち抜かれた痕跡が空襲の激しさを今に伝え、駅舎では毎年夏に平和を祈るコンサートが開催されます。

【国】 分の山あいにある塚脇地区には高齢化と少子化で子どもがほとんどいません。そこで生まれ育った福永健さんは、身近なそばを使ってふるさとに子どもたちを呼び戻そうと考えました。

そばは妻の和子さんの得意料理で家族の大好物。11年前から毎年学校や保護者、地域の大人と一緒に自分の畑にソバを植え、収穫、そば打ちまで行っています。児童は自ら手で種を植え、刈り取り、そばを打ち、食べます。「ソバは種まきから収穫までの期間が短く、食べ物の成り立ちを体験させるには最適」と健さん。

作り方にもこだわります。昔ながらのかまどに据えた黒く使い込まれた釜で湯がくそばは、つなぎに少量のヤマイモのみを加える田舎そば。地鶏とシイタケ、昆布でつゆのだしをとるやさしい味が地域でもおいしいと評判です。

「かまどは準備に手間が掛かりますが、火力が強く湯がくのに最適。子どもたちも珍しいと喜びます。便利になっ

でも古き良き文化に触れてほしい」と和子さん。「その貴重な体験が身近にできる田舎の良さをきつと分かってくれば」と健さんは続けます。福永さん夫婦の田舎そばをきっかけに、特認校制度を利用して塚脇小へ通う児童も増えてきて、地域に子どもたちの笑い声が戻りつつあります。塚脇に嫁いできてから地域の先輩に田舎料理を教わった和子さんは「夫は何事にも一生懸命。味にも妥協しません。おかげで料理の腕も上達しました」と笑います。

「私の思いを料理で形にしてくれている妻に感謝。うちのそばの味は妻と子どもたちの笑顔の味です」と照れ笑いする健さん。そんな思いをこれからも和子さんがそばで支えます。



福永健さん(71)、と妻の和子さん(67)



アジアユースパラ競技大会陸上全盲の部 100m、200m優勝

見えなくなっ、見えたもの

よしき
松下佳生君(17)

鹿児島盲学校高等部2年。平日は鹿児島市の盲学校で寄宿舎生活、週末は隼人町の実家で過ごす。自他共に認める負けず嫌い。2016年リオデジャネイロ、2020年東京のパラリンピックへ向けて練習に励む。休日は音を頼りにテレビゲームで遊んだり、アニメを楽しんだりして過ごす。



松下君を応援する家族(右=父・知史さん、中=松下佳生君、左=母・公仁子さん、前=兄・祐太さん)

伴走者の上園真吾さん(左)と息を合わせて練習に励む松下君。手には誘導のためのひもが。

「本人も家族もつらくて悔しい思いをたくさんしてきましたが、陸上は最高でした。岡山先生はいつも『ポジティブ、ポジティブ』と連呼する人。『目が見えないから、どうせ何もできない。何を望んでも無駄だ』と諦めていた自分が、先生の影響で少しずつ前を向けるようになっていきました」

全盲の松下君が走るためには、専門的知識のある指導者や安全な場所などが必要で、その環境を整えるために、理学療法士やテクニカルコーチ、伴走者などで作られた『Mプロジェクト』が始動します。平日は放課後にコーチとトレーニング、週末は国分陸上競技場で伴走者の上園真吾さん(24)と走り込み、お互いの信頼関係を築いていきました。

「皆さんの協力がないと、僕は走ることができません。マレーシアで手にした金メダルは、その分ずっしりと重く、関わってくれたすべての人に感謝の気持ちでいっぱいです」

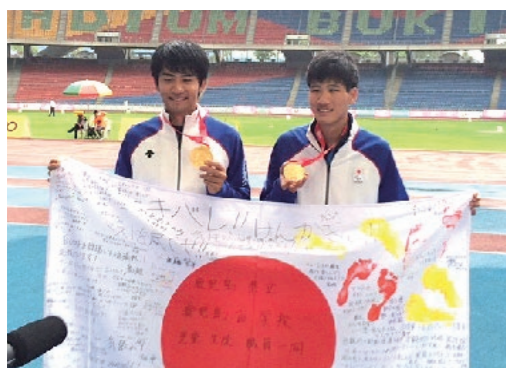
表彰台を降りた松下君は一番感謝を伝えたい人の元へ。マレーシアまで応援に来ていた公仁子さんと祐太さんの首にメダルを掛け、一言「ありがとう」と伝えました。照れ屋な松下君の精いっぱい言葉に、公仁子さんの目からは涙があふれました。

「本人も家族もつらくて悔しい思いをたくさんしてきましたが、陸上は最高でした。岡山先生はいつも『ポジティブ、ポジティブ』と連呼する人。『目が見えないから、どうせ何もできない。何を望んでも無駄だ』と諦めていた自分が、先生の影響で少しずつ前を向けるようになっていきました」

全盲の松下君が走るためには、専門的知識のある指導者や安全な場所などが必要で、その環境を整えるために、理学療法士やテクニカルコーチ、伴走者などで作られた『Mプロジェクト』が始動します。平日は放課後にコーチとトレーニング、週末は国分陸上競技場で伴走者の上園真吾さん(24)と走り込み、お互いの信頼関係を築いていきました。

「皆さんの協力がないと、僕は走ることができません。マレーシアで手にした金メダルは、その分ずっしりと重く、関わってくれたすべての人に感謝の気持ちでいっぱいです」

表彰台を降りた松下君は一番感謝を伝えたい人の元へ。マレーシアまで応援に来ていた公仁子さんと祐太さんの首にメダルを掛け、一言「ありがとう」と伝えました。照れ屋な松下君の精いっぱい言葉に、公仁子さんの目からは涙があふれました。



アジアユースパラ競技大会で金メダルを掲げる松下君(右)と伴走者の上園さん

「目標はパラリンピックのメダルです。そして、いつか目の見えない子どもたちに走ることを教えられたら。僕には目が見えなくなっ、見えたものがあります。それは人の温かさ。感謝の気持ちを忘れずに、前を向いて生きていきます」

好きな言葉は「なんくるないさ」。2年前、家族旅行で初めて訪れた沖縄の方言で「なんとかなるさ」という意味。前向きに歩き始めた松下君の周りには、今日も家族や仲間たちがいます。

「た だ生まれてきてくれて良かった」。彼の名前にはそんな両親の思いが込められています。松下佳生君(17)。今年10月にマレーシアで開催された障がい者の国際大会、アジアユースパラ競技大会に出場し、陸上全盲の部100mと200mで金メダルを獲得しました。27週の早産、わずか1000gで生まれた松下君は、未熟児網膜症で1歳のときに右の目が見えなくなりました。医者から「生存は難しい」

人の風景

THE SCENE

霧島に生きる

「目が見えないので、普段は無意識に自分をガードしていますが、何も考えず全力で走ったときの爽快感に打ち込んでいるときの佳生はとていい顔をしています。陸上と支えてくださる多くの人々。出会えて本当に良かった」と公仁子さんは目を潤ませます。

「目標はパラリンピックのメダルです。そして、いつか目の見えない子どもたちに走ることを教えられたら。僕には目が見えなくなっ、見えたものがあります。それは人の温かさ。感謝の気持ちを忘れずに、前を向いて生きていきます」

好きな言葉は「なんくるないさ」。2年前、家族旅行で初めて訪れた沖縄の方言で「なんとかなるさ」という意味。前向きに歩き始めた松下君の周りには、今日も家族や仲間たちがいます。

と言われながらも父・知史さんと母・公仁子さんの愛情のもと、すくすくと育ち、元気で活発な幼少時代を過ごします。二つ年上の兄・祐太さんといつも一緒に、明るく仲の良い家族でした。しかし、そんな日々は長くは続きませんでした。5歳のとき、もう片方の目も見えなくなり、松下君は光を失ってしまったのです。翌年、兄の通う小学校ではなく、鹿児島市の盲学校へ入学。彼の人生を長い目で見たとき、環境が整っている場所で学ぶ方が良く、家族で出した結論でした。

納得して入学したものの、暗闇の中、家族と離れて暮らすことになった幼い少年は不安と寂しさのあまり、荒れていったといいます。平日は盲学校での寄宿舎生活、週末自宅へ帰る日々。不安と憤りから、暴れて家族に当たることも。そんな日々が続き、明るかった少年はいつしか「どうせ」が口癖の中学生になっていました。

そんな松下君に転機が訪れます。それは陸上と、それを勧めた高校1年の担任、岡山啓さんとの出会いでした。

「目が見えないので、普段は無意識に自分をガードしていますが、何も考えず全力で走ったときの爽快感

郷土史への扉

大隅国の一宮である鹿児島神社(大隅正八幡宮)と社家の館跡が、「大隅正八幡宮境内及び社家跡」として平成二十五年十月十七日に国指定史跡となりました。霧島市では、大隅国分寺跡、隼人塚、上野原遺跡に続いて4例目の国指定史跡です。

一・大隅正八幡宮とは

大隅正八幡宮は、社伝によると和銅元(七〇八)年の建立で、「延喜式神名帳」には、鹿児島神社の名で薩摩、大隅、日向の中で唯一の大社として記載されています。その後、平安時代に宇佐八幡宮が九州各地に別宮を作ったとき、八幡神が勧請され、それによって「八幡正宮」と呼ばれるようになったと考えられています。諸国の神社が一宮、惣社を中心として整えられ、大隅国では正八幡宮が一宮として保護されました。

二・大隅正八幡宮の隆盛

鎌倉時代になると、源頼朝の庇護などにより勢力を拡大していきます。建久八(一一九七)年の「建久凶田

帳」によると、大隅国の約三千町の田のうち正八幡宮領は約千二百九十六町に及んでいます。また、鎌倉時代後期の書物『八幡愚童訓』に書かれている「八幡神の起源は大隅正八幡宮である」という内容を主張したことで権威が上がり、所有している田畑を寄付する人も出てきました。

シリーズ大隅国を知る ⑨

国指定史跡

大隅正八幡宮境内と社家跡

社家跡

どこからなる「宮内」と呼ばれる町が形成されました。正国寺や正高寺などの寺が建てられ、多くの神職・僧侶が住し、その数は百十家もあったといわれています。中でも世襲の桑幡・留守・沢・最勝寺の四社家は、それらを統括する立場にありました。

三・大隅正八幡宮境内

教育委員会では平成六年から大隅正八幡宮に關係する遺跡の発掘調査を実施してきました。境内からは、中国製

の青磁・白磁・陶器やタイ産の壺などが出土しています。

正八幡宮の所有品の中には、十四、十五世紀前半の中国やタイの陶磁器が多数あり、古文書には宇佐八幡宮(大分県)や石清水八幡宮(京都府)、京都、鎌倉などのことも書かれており、幅広い交流があったことが分かりました。

四・弥勒院跡(宮内小学校)

弥勒院跡では、多量の中国製陶磁器、タイ産の壺、ベトナム産陶器、土師器などが出土しました。出土品に中国の

越州窯青磁や須恵器が一定量含まれていることから、弥勒院が建てられたのは十世紀と思われる。

五・四つの社家

社家跡の特徴としては、館の周辺に土塁と堀(幅四〜七尺、深さ三〜四尺)を巡らせており、その規模は七十〜百尺の方形に区画されています。

社家の筆頭格である桑幡氏は、元は息長姓で「長門本平家物語」に第五十三代息長清道の名が見られます。沢氏の墓所には、四十四基の板碑に加え、延応元(一一三九)年の石塔や五輪塔、嘉禎三(一一三七)年銘の自然石柱の

ほか、中国から搬入されたと考えられる供養塔があります。

四社家はいずれも、平安時代後半に成立したと考えられますが、遺構の保存状態が良く、当時の歴史や神官御家人の館の構造を知ることができます。

六・中世の宗教都市

このように、大隅正八幡宮、弥勒院跡、四社家は、一地方の宗教施設にもかかわらず、京都や鎌倉、琉球、中国、東南アジアと幅広い交流がありました。また、一宮を中心に形成、発展した中世の地割が良好な状態で残るなど、中世の宗教都市の形成事情や過程を知る上でも貴重で、全国的に見ても希少な史跡として高い評価を得ています。(文責 川野)

大隅国建国1300年 記念
第7回史跡めぐり「きりしま歴史散歩」
 ●日時=1月12日(日)午前8時~午後5時15分(受付=午前7時40分から)
 ●集合場所=隼人庁舎前駐車場
 ●内容=宮田ヶ岡瓦窯跡(始良市)、薩摩国分寺跡(薩摩川内市)などをバスで巡ります。
 ●対象者=小学生以上
 ●定員=30人程度(申込多数の場合は抽選)
 ●参加料=1,200円(始良市歴史民俗資料館・川内資料館入館料を含む)
 ●申込方法=直接または電話で。
 ●申込期間=12月26日(木)
 ※飲み物などは各自ご準備ください。一部徒歩もあります。昼食は店にも寄りますが、持参されてもかまいません。
 ●文化振興課文化財グループ ☎(42)1119

新刊紹介

見えざる網

伊兼源太郎 作

テレビの街頭インタビューでインターネット上の希薄なつながりに異論を呈した今光は、放送直後から危険な目に遭うように。得体のしれない悪意にどう立ち向かうか?



寛容のメッセージ

多田富雄 作

現代文明の進む道に警鐘を鳴らしている著者が、免疫学の知見から導き出した「寛容」という智慧。そこに託されたメッセージとは。



ガムテープバッグの作り方

中島麻美 作

軽くて丈夫、水にも強い!針も糸も使わず「貼って」作る、カラフルでかわいいガムテープバッグの作り方を紹介します。ガムテープを使った便利グッズも掲載。



だるまちゃん・りんごんちゃん

かこさとし 作

りんごんちゃんから、りんごんまつりに招かれただるまちゃんですが…。長野県の飯田を舞台に繰り広げられる、だるまちゃんりんごんちゃんとの心温まる交流を描いた絵本。



図書館へ行こう

<http://www.lib-kirishima.jp/>

温かく、そして懐かくなる一冊

私の宝本

(福山町出身) 横瀬 さゆりさん おすすめの本

子どもを授かったと分かった日、買い求めた一冊です。いもようさんの優しい絵でつづられる童謡を、毎日のように読み聞かせ、歌いかけ、あれから26年経ちました。子どもたちはそれぞれ成長し、今では色あせてしまった本ですが、落書きや、破れたページも愛しい私の大切な宝物です。

いもとようこ・うたの絵本I 作者:いもとようこ

影をかう店/皆川博子
 世界泥棒/桜井晴也
 存在しない小説/いとうせいこう
 追憶の夜想曲/中山七里
 書樓弔堂破曉/京極夏彦
 星の民のクリスマス/古谷田奈月
 カクメイ/新野剛志
 新釈につぼん昔話/乃南アサ
 名もなき日々を/宇江佐真理
 はなとゆめ/冲方丁
 謎の国からのSOS/エミリー・ロッタ
 犬になった王子/後藤仁
 おひさまのめざましどけい/茂市久美子
 ペンギンとさんたい/斉藤洋
 いちばんでんしゃのうんでんし/たけむらせんじ
 ピッキーとポッキーのはいくえほん/あんざいみずまる

年末年始休館のお知らせ

12月29日(日)から1月3日(金)まで休館します。

- 国分図書館 ☎64-0918
- 隼人図書館 ☎43-7574
- 溝辺図書室 ☎58-3191
- 横川図書室 ☎72-1596
- 牧園図書室 ☎78-3349
- 霧島図書館 ☎57-0316
- 福山図書室 ☎56-2026

本からはじまる学習活動推進運動

●日時=12月21日(土)午前9時30分~10時40分 ●場所=みそめ館(溝辺公民館)
 ●内容=ボランティアグループなどによるおはなし会ほか ☎=溝辺図書室 ☎(58)3191

イベント名	日時[対象]	場所
ほととの森おはなし会	12月14日(土)、1月11日(土)・25日(土) 14:00~14:30	国分図書館
おはなしの部屋	12月15日(日) 11:00~11:30 [幼児・小学生]	隼人図書館
	1月19日(日) 11:00~11:30 [幼児・小学生]	
語りの部屋(語りの会あもり)	1月12日(日) 11:00~11:40	
おはなし会(おはなしの会「さんぽ道」)	12月21日(土) 14:00~15:00	横川図書室
お話の時間(紙ふうせん)	12月16日(月) 15:30~16:30	霧島図書室

*国分図書館のイベントは健康マイレージ対象事業です。



市からのお知らせや募集などの情報をお届けします。

詳細な情報は掲載されている問い合わせ先に、お尋ねください。

※問=問い合わせ先 申=申し込み先 提=提出先

お知らせ

「コア・よか」年末・年始休業のお知らせ

市民サービスセンター「コア・よか」は、12月29日(日)から1月3日(金)までの間は休業となります。年末年始以外は、土日・祝日も毎日開所していますので、お気軽にご利用ください。ただし、パスポート申請受け付けは平日のみの営業です。

- パスポート申請時間=午前10時～午後4時30分
- 納税・証明など取扱時間=午前10時～午後7時

問=市民サービスセンター ☎(46)1337

新春市民のつどい

新しい年のスタートを共に祝い、初日をよう拝ましよう。(雨天中止)

- 日時=1月1日(水) 午前6時55分～7時40分
- 場所=城山公園(国分)
- 内容=太鼓演奏、小・中学生による一言リレー発表、初日のよう拝など。

問=総務課市民運動推進室 ☎(64)0915

春山緑地公園多目的グラウンド 年間予約が始まります

平成26年度から全面供用とし、使用料金は通常料金となります。(日時が重複した場合は調整します)

- 申込期限=1月24日(金) 必着
- 優先順位=市主催・共催の行事など、そのほかの大会などを主催する団体の順。

※本庁耕地課にある申請書に記入の上、申し込みください。申請書は市ホームページからもダウンロードできます。

問・申=耕地課管理グループ ☎(64)0911

林業退職金共済制度(林退共)からのお知らせ

林業の仕事をしていたことがあり、林退共制度に加入していたが、退職金をまだ受け取っていない方はご連絡ください。自分が林退共へ加入していたか分からない方はご相談ください。

また、罹災した共済契約者や被共済者に各種手続き(共済手帳の紛失、退職金の請求など)の必要が生じた場合は、最寄りの支部または本部へ問い合わせください。

問=独立行政法人勤労者退職金共済機構林業退職金共済事業本部 ☎03(6731)2887

農業委員会委員選挙人名簿 登載申請書の提出を

毎年10月以上の農地を耕作している世帯へ、選挙管理委員会から農業委員会選挙人名簿登載申請書を12月20日ごろに郵送します。平成26年1月1日現在で必要事項を記入し押印の上、同封の返信用封筒で1月10日(金)までに農業委員会へ郵送してください(切手不要)。

問=農業委員会事務局 ☎(64)0929

工業統計調査にご協力ください

工業統計調査が12月31日現在で実施されます。12月初旬から調査員が市内の各製造事業所へ調査票をお届けします。調査員は「調査員証」を携行していますのでご確認ください。情報は厳守されます。安心してご協力ください。

問=情報政策課統計グループ ☎(64)0933

平成26・27年度入札参加資格審査 申請(建設工事・コンサル部門)受け付け

- 受付期間=1月14日(火)～2月28日(金)
 - 提出方法=持参または郵送(2月28日までの消印有効)
- ※詳細は市ホームページをご覧ください。

問・提=工事契約検査課 ☎(64)0932

福ふく漁師グループの夕市開催

福山港でその日に水揚げされた新鮮な魚類を毎月1回販売しています。

- 日時=12月21日(土) 午後3時(売り切れ次第終了)
- 場所=福山港海浜公園(漁協直売店前)

問=福山町漁業協同組合 ☎(55)2506

事業主の方々は就職面接会にご参加ください

高校生のための「就職面接会in霧島」を開催します。地元の将来を担う若者たちが、職業人生のスタートに立てるよう、また応募の機会もいまま卒業することのないよう、事業主の方々の多数の参加をお願いします。

- 日時=1月24日(金) 午後1時～4時(受付=正午から)
- 場所=国分シビックセンター2階多目的ホール
- 申込締切=12月27日(金)

問=国分公共職業安定所 ☎(45)5311

九州電力からのお願い

■感電事故にご注意

たこ揚げでたこなどが電線に引っ掛かった場合や、切れたり垂れ下がったりした電線を見つけた場合は、絶対近づかずご連絡ください。また、電線の近くでクレー

ン車や重機を使った作業をする場合は、必ず事前にご連絡ください。

■今冬の節電へご協力ください

生活・健康や経済活動に支障のない範囲でご協力をお願いします。高齢者、乳幼児、ご病気の方がいるご家庭では、エアコン、電気カーペット、電気こたつなどの控え過ぎによる体調不良に気を付けてください。また、衛生面や安全面で不適切とならないようご注意ください。

- 節電期間=3月31日(月)までの平日(年末年始の12月30日(月)～1月3日(金)を除く)
 - 節電時間=午前8時～午後9時
- ※特に電力需要の高い午前8時～11時、午後5時～8時は重点的な節電をお願いします。

問=九州電力株式会社霧島営業所 ☎0120(986)803

募 集

市営住宅の入居者募集

国分・隼人地区の市営住宅(11月29日までに入居準備のできた部屋)の入居者を募集します。

申し込みは団地ごとに受け付け(1世帯1団地に限る)、申込多数の場合は抽選となります。

- 申込書の配布・受付期間=12月9日(月)～20日(金)
 - 抽選日=1月9日(木)
- ※申し込みについては所得制限などの条件があります。※部屋の詳細は市ホームページをご覧ください。※中所得者向けの特定公共賃貸住宅および国分・隼人地区を除く市営住宅は、随時募集しています。

問=国分・隼人地区は建築住宅課住宅グループ ☎(64)0909、そのほかの地区は各総合支所産業建設課 ☎(45)5111 内線(溝辺6108)(横川6354)(牧園5522)(霧島5732)(福山6871)

みぞべ新春書き初め大会

- 日時=1月5日(日) 午前9時から(受付=午前8時30分から、荒天の場合は中止)
- 場所=溝辺公民館(みぞめ館)2階研修室
- 参加資格=小・中・高校生、一般(大学生含む)
- 参加費=1人300円
- 申込期限=12月25日(水)

問・申=市文化協会溝辺支部【横山節子】 ☎(59)2745

(仮称)霧島市生物多様性地域戦略(案) へのご意見を募集します

市が策定中の計画へのご意見を募集しています。ご意見は後日市ホームページにて公表し、計画策定の参考とさせていただきます。なお、ご意見に対する個別の回答はしません。

- 公表(意見受付)期限=1月6日(月) 必着

- 計画内容=生物多様性の保全と持続可能な利用に関する基本方針などを定める計画。
- 公表方法=市ホームページ、国分シビックセンター情報公開室(4階)、環境衛生課、隼人庁舎隼人地域振興課、各総合支所地域振興課、コア・よか、福山市民サービスセンター
- 提出方法=閲覧場所での提出、郵送・ファクスでの提出、市ホームページで入力して提出。

問=環境衛生課環境保全グループ ☎(64)0950、FAX(47)1930

新春賀詞懇談会のご案内

	霧島市商工会	霧島商工会議所
期日	1月7日(火)	1月10日(金)
場所	霧島ロイヤルホテル	ホテル京セラ本館
会費	5,000円	5,000円
内容	16:00～講演会 (宮下純一さん: 北京五輪メダリスト) 18:00～懇談会	17:40～歓迎演奏会 18:00～懇談会
問い合わせ先	霧島市商工会 ☎(42)2128	霧島商工会議所 ☎(45)0313

河川工事建設発生土の無償受け入れ候補地

始良・伊佐地域振興局が行う河川工事の建設発生土を無償で受け入れる候補地を公募します。

- 工事予定箇所=思川(始良市平松)
- 公募対象=法人・個人を問いません。
- 公募期限=12月26日(木)
- 搬入期間=概ね平成26年1月から2月
- 申込方法=申込先窓口にある申込書に記入し提出。
- 受入条件=土量が概ね1,000立法以上であること、法律・関係条例上、埋め立てなどを行うことが可能な土地で、関係手続きが申し込み時に完了していること、10トンプで搬入できる場所であること、工事箇所から概ね20^キ以内であること。

※そのほか疑義がある場合は協議します。

問・申=始良・伊佐地域振興局河川港湾課 ☎(63)8367

相 談

年金相談

年金に関する相談に応じます。老齢年金などの請求手続きもできます。(秘密厳守・相談無料)

- 日時=1月10日(金) 午前10時30分～午後3時
 - 場所=国分公民館3階小研修室
 - 必要なもの=相談者本人であることを確認できるもの
 - 相談員=社会保険労務士
- ※原則相談日曜日までの予約が必要です。(予約なしでお越しの場合は、お待ちいただく場合があります)

問・申=街角の年金相談センター鹿児島 ☎099(295)3348



田村ヒロ子さん(溝辺町)

Readers Voice 読者の声

このコーナーは読者の皆さんからの声を伝えるページです。本誌への感想、霧島市への思いなど、たくさんのお寄せください。



こ 数年、手のしびれに悩まされ、今年2月からリハビリのために絵手紙を続けています。

きっかけは今年1月の広報誌で紹介された二見朱美先生の「へたがびつり1000枚展」を見、それから早速始めて1000枚になり、それなりの成果が出てきたように感じます。

● 楽しみながらのリハビリ、いい考えですね。1000枚書くころには相当な腕前になっているのでしょね。

絵 手紙教室の二見朱美先生の元で絵手紙を習っています。日々の暮らしを絵にして言葉を添えます。受け取ってくださる方のことを思って描く絵手紙はとっても楽しく「ときめき」ます。

● このたび生徒10人で「絵手紙10人展」を開催することになりました。私たちの作品をどうぞ見に来てください。

● 期間 1月3日(金) 30日

(木) 午前9時～午後6時

● 場所 大坪茶舗ギャラリー (溝辺町麓)

(ときめきおばちゃん52歳女性)

● 感じたものを紙いっばいに描くことが絵手紙の極意なのでしょか。絵に短文を添えると心が伝わってきます。

● さつま狂句

● 米寿来っ 派手な着物で

若こ見せつ

● 兄弟仲も 資産分け次第

仲悪し

(東若吉吉男さん87歳男性)

● 財産は無い方がいい。ううん、でもほしい。悩ましい。

先 日、照葉樹の森づくりをする「10万本植林プロジェクト」の回覧板が回ってきました。

● 思えば、昨年、友達に誘われて上野原の植林に初めて参加。お父さん、お母さんと一緒に参加された大勢の子どもたち、また会社の職場の人たちが区分けされた場所にいろいろな苗木を一本ずつ植えていきます。やがてその木が林になり森になっていくのかと思うと、子どもが育っていくのと同じで楽しみですが、その間の手入れも大変な仕事だと思えます。

● 地球温暖化が叫ばれている今こそ、こういう事業が大切だと思えます。ちなみに今年も参加します。(森の妖精69歳女性)

● 実は10万本植林プロジェクトの森づくりは、植えたあと何も手を加えずに木々同士が切磋琢磨して育っていくので

す。すごいですね。

広 報きりしまをいつも見せてもらって私も「読者の声」にはがきを書きたくなりしました。この11月から病氣予防教室が始まりました。一人暮らしの私も参加させてもらおうようになりました。

● 新しい友達ができたり諸先生方も気軽に声を掛けてくださったり、本当にうれしい楽しい教室です。これからも元気で長生きして、またお世話になるつもりです。

● ぼけないようにいろいろなこともしております。47年愛用した運転免許証も返納しました。周りの人たちに迷惑をかけております。(86歳の元気なばーさん女性)

● 便利な車を手放すことができたのは、周りの人に支えられているからなのでしょう。昨年度、霧島市で自主返納された方は246人でした。

猛 暑を終え、やっと秋らしくなってきた今日この頃です。やはり霧島には秋

が似合いますね。

先日、買い物に行こうと歩いていたら初老の女性に呼び止められました。目的地への道をお尋ねでした。ちょうど通り道でしたので、道中一緒に、少しお話をしました。

● その方は現役を引退し、余生をゆっくり過ごすそうと考える。その居住先を求めて全国の温泉地を夫婦で巡っていらっしやるそうです(なんとリッチな)。そして、ここ霧島がほかのどこよりも気に入ったそうです。温泉地と街が離れ過ぎていないのがよいのだそうです。やはり、病院とか買い物とか暮らしの基盤となるものが近くにある方が、老齡

● を迎えるにあたり安心なのでしょです。

「ええ、ここは適度に田舎で適度に街ですよ」とお答えしておきました。また一人、霧島ファンが増えようれいしです。(M・K51歳女性)

● 市民の皆さん一人一人のおもてなしの心が、霧島市ファンを増やしてくれているのでしょね。

私 は霧島市国分の出身で、もう関東地方に56年在住しています。

● 私は「広報きりしま」の1号から現在までの愛読者です。というのは「市報こくぶ」時

● 代から小学校の同級生が毎月自宅に送ってくれるのです。楽しく、楽しく、そして、故郷の動きを手取るように、表紙の写真から内容は全ページ熟読し、裏表紙の広告まで読み尽くします。特に好きなのは「人の風景」「市長コラム」「読者の声」「随想」で毎号楽しみです。さらに絵はがきが付くようになり最高です。

● ところで、先月10月27日に「関東国分第10回記念祝賀会総会・懇親会」があり出席しました。会場に入ると全テーブルに芋焼酎「さつま国分」がドーンと置いてあるのに感動しました。これを飲みながら故郷の話で盛り上がり

● 「読者の声」はふるさとを愛する言葉を聞くと、本当に素晴らしいまちに住んでいるのだと実感します。

● 県人会の皆さんのふるさとを愛する言葉を聞くと、本当に素晴らしいまちに住んでいるのだと実感します。

先 テレビなどで食品の一部の賞味期限の延長が発表されました。私の幼少

● 時の食糧難を考えると今一度、全ての物を大切に考えてみてはどうでしょうか。昔の粗食が健康の一助になるのではと考えております。

● 霧島市は自然の宝庫。食にも生かしてみたいと思います。野に山に自然の食品も多いです。(昔の人76歳男性)

● 香りや苦味など山菜は旬を食べているという実感がありません。自然を摘みに出かけるのも楽しいです。

● この他に7通のはがきをいただきました。文章は添削する場合がありますので、ご了承ください。

● ゆうたくん「大きな声であいさつで(左) きるようになりました」
りなちゃん「あいさつを自分からするようになりました」(中央)
かすとくん「空手は楽しいです」(右)

● 時間=毎週火曜日 午後5時30分～6時30分
● 場所=サン・あもり



若者掲示板
サークルや地域おこしグループなど活動紹介や会員募集を掲載しています。

● 練習日=毎週日曜日
● 時間=午後8時～10時
● 場所=国分南中学校体育館
● 対象=成人男女
● 参加費=1回200円
○現在25人ほどで活動中。
[きりしまバスケット寿BBC]で検索!

大きな声でオス!



みんな一緒に空手をしませんか。
より良い生活習慣や礼儀も身につきます。

● 時間=毎週火曜日 午後5時30分～6時30分
● 場所=サン・あもり

私は現在、あいら農業協同組合溝辺統括支店に勤務しています。今年から職場で地域貢献活動として、溝辺町内の小学校で行われる美化作業にボランティアとして参加しています。



溝辺方面隊の操法大会で優勝し、来年行われる霧島市消防団操法大会に向けて練習をする下園さん(右)たち

地域の生命・財産を守る

◎下園 真也

食・農文化の教育や地域住民との交流にも力を入れていて、イベントの時などは、地域で収穫された米や野菜などを使い、おにぎりや漬物などを皆さんに提供。地域に密着した活動を心掛けながら、

日々務めています。 「地元のために」との思いから現在、霧島市消防団溝辺方面隊竹子分団に所属し消防団活動にも取り組んでいます。消防団に入るきっかけをつくってくれたのが父です。私が幼いころから父は消防団員として活動していましたが、その中で思い出深い出来事がありました。私が18歳くらいのときに実家の近くで火災が起こり、父や消防団員と一緒に消火活動を行なったことがありました。消防団の大切さやその役目の重要さに気付いた私は、「いつかは自分も入団しよう」との思いで入団を決意しました。

消防団の役割は地域住民の生命・財産を守ること、災害や火災を出さないよう予防に努めることなどがあり、地域を愛する気持ちを持ちながら、安心安全なまちづくりのために日々、頑張っています。 予防活動として年の暮れには各家庭を訪問し、火災予防の声掛けを行ったり、門松

を作り地元の小学校や企業などに提供したりするなど、竹子分団ならではの活動があります。 入団1年目から操法手という大きな役割も担当させていただき、大会に向けても団員一丸となって練習に励んでいます。消防団員としての活動の中では父をはじめ諸先輩方から学ぶことが多く、入団して本当に良かったと感じています。 現在父は溝辺方面隊長としており、私も消防団員として活動しています。親子二代で共に地域のために活動できていることがうれしく、またやりがいを感じています。 趣味は狩猟で狩猟免許を取得。有害鳥獣駆除隊員としても活動しており、地域の農作物や森林が鳥獣被害を受けた場合、霧島市から依頼を受けて駆除を行い、農作物への被害を軽減することにも努めています。この活動も自然や地域を愛する気持ちで活動している消防団と根本は一緒だと

Profile

しもそのしんや(29)



溝辺町在住。18歳であいら農業協同組合(JAあいら)へ入組。現在、溝辺統括支店複合渉外グループ長として勤める傍ら霧島市消防団溝辺方面隊竹子分団にも入団し操法手としても活動している。趣味は狩猟。始良地区体育大会にクレイ射撃で出場し、去年、今年と2年連続で2位を獲得。

◎お便りをくださった方の中から新米「あきほなみ」5kgを5人の方にプレゼント。応募締め切りは12月20日(金) 当日消印有効です。※当選の発表は、商品の発送を持ってかえさせていただきます。

12 PRESENTS

新米「あきほなみ」5kgをプレゼントします

安心・安全・新鮮なおいしい旬の野菜・果物が豊富な品ぞろえの「じょうもん市場」から新米「あきほなみ」をプレゼント。12月からはイチゴや桃太郎とまが店頭並びます。12月29日(日)は「年末感謝祭」。もちつき大会、焼き芋の無料配布、お楽しみ抽選会など楽しい催しがあります。【営業時間】午前9時～午後6時。今年の営業は12月31日(火)正午まで、来年は1月6日(月)午前9時から営業します。

問=国分物産館「じょうもん市場」 ☎(45)3322



※読者プレゼントを提供して下さる方を募集しています。秘書広報課広報広聴グループ ☎(64)0955 までご連絡ください。

霧島市ホームページ



市ホームページまたは携帯サイトをご覧ください。ご利用の携帯電話や読み取りアプリによって表示される内容が異なります。

霧島市公式ツイッター



市の情報をタイムリーにお知らせします。

◎人口 / 128,130人(+68)

男性 / 61,634人(+28)
女性 / 66,496人(+40)
出生108人 / 死亡103人
転入388人 / 転出321人

◎世帯数 / 59,234世帯(+19)

(平成25年11月1日現在)

今月の表紙



桜島爆発800回 (福山町小畑から撮影) 11月23日 午前9時10分

【撮影データ】

デジタルカメラ レンズ28～300mm F3.5-5.6 1/320 F7.1 ISO200

約 3年前に新燃岳が噴火した時は、そのものすごいパワーに圧倒され、恐怖を感じました。しかし、桜島大正噴火の噴出物は新燃岳をさらに上回る約66倍。想像ができない…。私も避難グッズは用意していますが、これでは全然足りないと反省。皆さんの備えは万全ですか(み)

思 い話を交えながらうれしそうに田舎そばを作ってくれた福永さん夫婦。塚脇小の子どもたちに昔ながらのおやつやおもちゃの作り方も教え、とても喜ばれている。郷土に伝わる知恵や文化を次の世代に伝えるって素晴らしい。それが今も残る地域にもっと目を向けよう(か)

松 下君の取材はお母さん、お兄さんも同席。質問に対する回答につっこみが入り笑いが起こる。家族の仲の良さが伝わってくる。たくさん笑って取材を終えたのに、帰り道は一人涙がこぼれた。家族の絆と温かさにふれた感動の涙。感動を伝えられる広報マンになりたい(う)

職 場のジュースの自販機が紙コップから缶やペットボトルに変わり料金が50円高くなった。そこで、物産館からリーフ茶やレモンガラスなど地元の物を数百円で購入。ひと手間加えて安上がり。小遣いにも余裕ができたので酒を飲みに行く機会も増えた。結局マイナスか(た)

EDITORS

市長コラム 前田終止

己を尽くして人をとがめず 「己を尽くして人をとがめず。我が誠の足らざるを常にたずぬるべし」私の政治家としての恩師、故・二階堂進先生が座右の銘とした西郷隆盛翁の遺訓で、私もこれを心に刻み日々精進いたしております。 今回の市長選挙で初代霧島市長として3期目の舵取りをさせていただくことになりました。心から感謝申し上げます。幸の候補者、市民の皆さまも、このまちを愛する気持ちは同じだと思います。選挙は終わりましたが、霧島で力を合わせて可能性あふれる霧島市をつくってまいりたいと存じます。 これからの4年は、国立公園指定80周年、市制施行10周年、国民文化祭の開催、明治維新150周年、国民体育大会への備えなど重要なスケジュールが目白押しです。まさに霧島市政の正念場です。現場主義で市民の皆さまの声を市政に生かし、鳥の目線でダイナミックに虫の目線できめ細やかに市政を推進し、合併して良かったと言われる、日本一のふるさとづくりを目指して努力いたします。